

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:2019/1/18

作成者:山本

会議名: 第3回 まちづくりビジョン研究チーム会議

日時: 平成31年1月16日(水)

場所: 速野会館 小会議室

出席者: 山本光男、今井孝雄、藤川祐子、岡本善広、今井寿一、猪飼正成、馬場敏明、山田良彦
まなびあい部会／村瀬部会長、佐々木副部会長、ふれあい部会／加藤部会長、倉益副部会長、ささえあい活動部会／楠本部会長、今江副部会長

出席者(行政): 速野会館: 赤井館長、山本

議題

今後の速野学区まるごと活性化事業の取組みについて
(まちづくり協議会正副部会長との合同会議)

会議要旨

内容

1. 現在のまるごと活性化事業の取組みについて

2. 今後のまるごと活性化の事業の取組みおよび組織運営について

3. 速野まるごと活性化事業とまちづくり協議会との連携について

○まなびあい活動部会より

もちろん当番制でないともちづくりのような活動は積極的にはしないのが現状。無理やりでもやっていく内に自治会でこんな活動があるのだなと知る機会となったので個人的には良かった。分からないなりに、いろいろな方に参画してもらえる仕組みの方が良い。

○ふれあい活動部会より

嫌々やりながらもやりがい等を見つけて取り組める。進んで積極的に参加する仕組みは難しいと思う。当番制は最初は仕方ないと思いながらするが、その中で発見もある。部会長は1年目、副部会長は2年目で2年間の任期で何もわからないまま終わる。本当に新しい取組を目指すなら2年間では無理。

○ささえあい活動部会より

各部会ではまったくふるさとづくり委員会の内容はわからない。防災はもっと上の組織(自治会長会等)で扱ってほしい。一部会では荷が重い。どの活動もそうだが、役員のためのイベント活動になっている。行事をこなしているだけのイメージが強い。

4. その他

総会までにまちづくり協議会の各3部会とふるさとづくり委員会で新旧部会長、委員長の会談の機会を設けてはどうか検討(引き継ぎも含めて)。

次回 1月29日(火)午後7時30分から
〔ふるさとづくり委員会の組織体制について〕

決定事項

次回以降について